

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：感染症予防費

事業名 エイズ対策事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部感染症対策推進課 感染症対策第二係 電話番号：058-272-1111(内3354)

E-mail：c11237@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,932 千円 (前年度予算額： 1,273 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,273	636	0	0	0	0	0	0	637
要求額	1,932	966	0	0	0	0	0	0	966
決定額	1,932	966	0	0	0	0	0	0	966

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

エイズのまん延は、欧米及びアジア諸国をはじめ世界的に深刻な状況にある。

また、男性同性間の性的接触による感染の増加、H I V抗体検査件数の減少等新たな局面を迎え、エイズ患者・H I V感染者に対する治療、ケア等の充実及び県民への正しい知識の普及に努め、エイズのまん延防止を図るため対策を講じていく必要がある。

(2) 事業内容

- ・岐阜県エイズ対策推進協議会の開催
- ・エイズ教育促進事業(保健所職員による中高生出前講座等)
- ・針刺し事故によるH I V感染防止体制の整備事業(予防薬の配備)
- ・エイズ相談員研修事業(研修会にエイズ治療拠点病院の看護師等を派遣)
- ・エイズ特別研修事業(研修会に保健所の保健師を派遣)
- ・個別施策層対策事業(男性同性愛者を対象とした普及啓発活動)

(3) 県負担・補助率の考え方

県1/2 国1/2

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	233	協議会委員、講師謝金
旅費	455	業務旅費、費用弁償
需用費	507	パンフレット、針刺し事故予防内服薬、会議費、印刷製本費
役務費	12	通信運搬費
委託料	700	無料H I V検査会MSMへの検査受診勧奨・予防啓発委託
使用料	15	協議会会場使用料
負担金	10	エイズ相談員研修受講料
合計	1,932	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県保健医療計画

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

エイズ患者・HIV感染者に対する治療、ケア等の充実及び県民への正しい知識の普及により、エイズのまん延防止を図るとともに、エイズに対する偏見・差別を払拭する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R11)	達成率
① 無料HIV検査会 受検者数		中止	35人	35人	35人	
② 性感染症・エイズ講習会の参加者数		902人	1,500人	1,500人	1,500人	60%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>○保健所による学校等への出前講習を実施（15件）。</p> <p>○エイズ治療薬を拠点病院に配備。</p>
	指標② 目標：1,500人 実績：712人 達成率：47.4%
令和3年度	<p>○保健所による学校等への出前講習を実施（16件）。</p> <p>○エイズ治療薬を拠点病院に配備。</p>
	指標② 目標：1,500人 実績：717人 達成率：47.8%
令和4年度	<p>○保健所による学校等への出前講習を実施（9件）。</p> <p>○エイズ治療薬を拠点病院に配備。</p>
	指標② 目標：1,500人 実績：902人 達成率：60.1%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない 	
(評価) 2	感染拡大を防ぐため、感染リスクの高いMSMや今後リスクの高まる青少年等の個別施策層にエイズに対する正しい知識、早期発見・早期治療の普及啓発が必要。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない 	
(評価) 2	令和元年度に実施したH I V検査会では、ボランティア団体と連携してMSMをターゲットに広報活動を行い、36件のH I V抗体検査を実施した。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている 	
(評価) 2	MSM対策については、ボランティア団体のネットワークを活用し、効率的な検査普及活動ができている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 岐阜県では、発症してはじめて感染が分かった人の割合が高く、適切な治療・感染予防を図るため、検査の重要性について積極的な普及啓発が必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか MSMや若年層には、引き続き普及啓発活動を実施していく。 また、エイズ治療拠点病院および保健所の職員を研修会等に派遣し、専門的知識を有する職員の育成を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】